



第447号

公益社団法人
徳島県環境技術センター

発行

徳島市津田海岸町 2-33
電話 (088) 636-1234(代)
FAX (088) 636-1122
発行責任者 大坂 利弘
編集者 原岡 艶 甲

第7回 社員総会を開催

県環境技術センターは、5月31日(水)午後3時15分から徳島グランヴィリオホテルに於いて第7回となる社員総会を開催した。



総会には、海野副知事や遠藤徳島市長ら来賓の臨席のもと、会員139名(委任状・議決権行使出席者含む)が出席し、井内副会長の開会の詞の後、大坂会長が『県が、汚水処理構想の中で浄化槽の普及を一段と加速することを打ち出している。今こそ業界が一つに纏まり、その受け皿となる必要があるので、協力をお願いしたい』と挨拶、続いて、海野副知事、遠藤市長ら来賓が祝辞を述べた。来賓紹介、祝電披露と続き、議事に入った。

まず始めに、定款の規定により大坂会長が議長となり、出席者59名、委任状での出席55名、議決権行使25名、合計139名、よって会員数162名の過半数を超えているため、総会が成立することを報告した後、議事を進行した。

(第1号議案) 平成28年度事業報告及び収支決算報告について

川人専務理事が事業について、原岡理事が収支決算について報告した後、会員から、法人の所有する土地(事務所建設地)の減損損失処理について、質問があったが、長地監事より『土地の資産価値が著しく(50%以下)下落し、回復が見込めない場合、公益法人では当該処理が必要』と回答、了承を得た。その他異議無く、承認された。

(第2号議案) 理事1名の選任について

今回の総会終了をもって、辞任の意向を示した原岡理事の後任として、空保次長の選任を提案した結果、異議無く承認された。

(第3号議案) 役員報酬規定の改定について

理事の報酬を現在の5,000円/半日から7,000円/半日に引き上げる改定を提案し、異議無く承認された。

(第4号議案) 会員の入会・退会等に関する規則の改正について

会員の入会・退会等に関する規則第3条2項の入会手

続きの添付資料に関する記述及び入会申込書の様式変更について改正を提案した結果、異議無く承認された。

審議事項が終了したため、報告事項へと移り、平成29年度の事業計画及び収支予算について、川人専務理事、原岡理事がそれぞれ説明した。

議案がすべて終了した後、会員功労者の表彰が行われ次の皆さんが表彰を受けた。

- 高尾 武司 氏 (株)ユニベック
- 日下 貴博 氏 日徳三善電機(有)
- 林 哲郎 氏 毎日衛生(有)
- 田中 勝 氏 (有)田中清掃
- 森 玄德 氏 (有)森清浄社
- 真鍋 浩章 氏 (株)マナベ商事

続いて、事業従事者の表彰があり、次の皆さんが受賞した。

- 前野 英夫 氏 徳島環境整備(株)
- 以西 和久 氏 トーヨー化工(株)
- 木村 薫敏 氏 (有)光エンテックス
- 張 尊詞 氏 (株)庄の屋
- 豊崎 尚志 氏 (株)アズマ四国
- 林 昭広 氏 (有)中川衛生

最後に、吉村常任理事が閉会の言葉を述べ、午後4時50分に総会が終了した。

暑中お見舞い申し上げます

暑さ厳しき折柄、くれぐれもご自愛のほど
お祈り申し上げます

平成29年盛夏

監	事	理	常	専	副	会							
志	長	本	真	高	田	森	加	田	中	吉	川	井	大
摩	地	保	鍋	尾	村	村	統	中	筋	村	人	内	坂
恭	孝	恭	浩	武	茂	玄	叙	章	章	正	誠	幸	利
臣	夫	章	章	司	人	徳	男	勝	聡	正	司	一	弘

入会会員企業紹介

平成 29 年 4 月 24 日の理事会において次の企業の入会が承認されました。

企業名: 三晃産業(株)
代表者: 石川 雅一
住所: 徳島市川内町平石流通団地 29 番地
電話: 088-665-3400
所属部会: 保守点検

第 38 回 理 事 会 を 開 催

県環境技術センターは、4月24日(月)午後1時から理事11名、監事2名の役員が出席し、第38回理事会を開催した。

最初に司会者となった川人専務理事から、就任の挨拶があり、続いて定款40条の定足数を満たしていることで理事会が有効である旨を報告したあと、大坂会長が議長となり議事を進めた。

(第1号議案) 前回からの継続審議について 役員報酬の増額について

増額について採決したところ、賛成多数により、今年度の総会に役員報酬の改正につき提案することが決定した。またその金額について、シミュレーションした結果、5,000円/半日→7,000円/半日の場合、昨年度と同じ回数で360,000円赤字が増え、10,000円/半日とした場合には、約900,000円赤字が増える事を報告、次回理事会で、その報酬額と共に、増額の根拠(理由)及び法人会計の赤字解消のための方策(財源)等について協議することとなった。

(第2号議案) 総会の案内はがきの様式について

総会の案内に、出欠・委任状並びに議決権行使書のはがき2枚分をA4一枚にまとめた様式を用いることとなった。なお、分かりやすいように記入例も同封することとした。

(第3号議案) 入会申し込み企業の承認について

以下の企業からの申し込みについて審議した結果、満場一致で承認され、入会が決定した。

企業名	三晃産業株式会社
代表者	代表取締役 石川 雅一
住 所	徳島市川内町平石流通団地29番地
所 属	保守点検部会

(第4号議案) 会員事業所への聞き取り調査について

川人理事が、新たに専務理事兼事務局長に就任したことから、『会員の皆様がセンターに何を望んでいるのか』を改めて確認したい旨を提案、個別訪問等により以下の点に付き調査することについて承認を得た。

- ①業界の適正化について
- ②会員事業所の事業(仕事量)拡大や安定化
- ③各種情報の提供等について
- ④会員間の親睦や交流について
- ⑤その他の要望事項

(第5号議案) 事業従事者表彰候補者の承認について

事業従事者表彰について、会員事業所から推薦のあった以下の6名に決定した。

前野 英夫 氏	徳島環境整備(株)
以西 和久 氏	トーヨー化工(株)
木村 薫敏 氏	(有)光エンテックス
張 尊詞 氏	(株)庄の屋

豊崎 尚志 氏 (株)アズマ四国
林 昭広 氏 (有)中川衛生
(その他の事項)

原岡参事の平成29年度からの担当業務について報告した。

また、長崎県環境整備事業協同組合から、センターでの啓発事業等について研修したい旨申し入れがあったことを報告、開催の詳細については5月の理事会で協議することとした。

以上すべての議案が審議され、2時48分に閉会した。



神山町 きれいな水づくり 会議開催 打合せ 推進協議会

3月27日(月)午前10時から「神山町きれいな水づくり推進協議会」の打合せ会議が、県環境技術センター4階会議室で開催された。

今回の会議は、総会前の打合せ等を兼ねた検討会として、会員4社の代表者と現場担当者及び事務局の計12名が出席した。

まず現在の契約状況等について事務局より報告を行った。ここ近年の新規契約数が伸び悩んでおり、新規契約数が前年度実績と同数となった。

これを受けて、新規契約数の増加に向けた新たな取り組みについて協議を行った。他県における生涯機能保障制度を一例に挙げ、修理等積立契約等といった加入者へのメリットのある様々な案が出されたが、その中で省エネ型浄化槽管理システムの構築に向けた取り組みを検討・研究していくことが決定された。

最後に平成29年度総会の開催日を6月7日に決定したのち、散会した。



那賀町浄化槽 らくらくあんしん 協議会

会議開催
打合せ

3月28日(火)午後2時から「那賀町浄化槽らくらくあんしん協議会」の打合せ会議が、阿南市文化会館夢ホールで開催された。

今回の会議は、総会前の打合せ等を兼ねた検討会として、会員4社の代表者と現場担当者及び事務局の計13名が出席した。

まず現在の契約状況等について事務局より報告を行った。新規契約数は前年度実績より増加したが大きな伸びには至っておらず、ここ近年では同様の傾向が続いている。

これを受けて、新規契約数の増加に向けた新たな取組みについて協議を行った結果、神山町協議会と同様に省エネ型浄化槽管理システムの構築に向けた取り組みを検討・研究していくことが決定された。

最後に平成29年度総会の開催日を6月14日に決定したのち、散会した。



主催者発表で約千人余りの参加者があったが、センターからも、会員・役職員合わせて約60名が参加し、ボランティア活動に汗を流した。

当日は海浜の清掃活動の他、国土交通省および徳島・小松島港清港会の海洋清掃船による対象海域の浮遊ゴミの除去、小松島漁協によるアサリの放流などが行われた。

また、このボランティア活動に先立ち、当センターが創設している助成制度による対象海域の海水浴場としての水質検査も実施している。(結果は、小松島市のホームページにて公表予定となっている)

活動後は綺麗になった海浜と、朝日に輝く美しい海を眺めながら、参加者は皆、清しい気持ちで会場をあとにした。



徳島市環境イベントに参加

センターは エコ工作を出展

徳島市は、平成29年6月3日(土)午前9時30分からとくしま動物園内の動物園センターにおいて、「親子で楽しもう！エコeco体験」と題した環境イベントを開催し、大勢の親子連れでにぎわった。

このイベントは、市が6月1日から7日までの期間を「徳島市民環境週間」と定めていることにあわせて、環境問題を身近に感じてもらうことを目的とした体験型イベントである。

当日は、環境啓発にちなんだ絵本の読み聞かせやクイズラリー、エコバックお絵かき体験等、多彩なイベントが行われたが、その中で当センターからはペーパービーズを使ってプレスレットを作るエコ工作イベントを10:00～12:00の時間で出展した。使用した広告や包装紙を丸めてペーパービーズを作成してもらい、それをゴムひもに通してプレスレットを作るというもので、子供たちだけでなく、



リフレッシュ瀬戸内開催

センターからも会員・役職員多数参加

平成29年6月10日(土)、小松島市横須・金磯海岸において、『受け継ごう きれいで豊かな瀬戸の海』をキャッチフレーズに「リフレッシュ瀬戸内」が開催された。

この事業は、国・県・市町で組織する、「瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会」が主催するもので、毎年6月の第2土曜日に開催されている。

センターもこの事業に協賛し、平成24年から参加し、今年で6回目となる。

活動に先立って、濱田小松島市長の開会挨拶ののち、国土交通省、海上保安庁、海上自衛隊、県運輸政策課からの来賓挨拶があり、当センターからは大坂会長が挨拶に立ち、水環境を守るため浄化槽が重要な働きを担っていることと、生活排水の適正な処理の観点から、合併処理浄化槽への転換を参加者に呼びかけた。

お手伝いした保護者の方も真剣な眼差しでビーズを作成していた。出来上がったブレスレットを早速腕に付けて帰る子供も多く、非常に好評であった。この工作の説明の中で、「この工作によって、紙はゴミにならなくなった。このように紙も水もリサイクルすることが重要であり、今日の思い出を通して家庭でできるエコの話は是非おうちでもしてください」と訴えた。

イベントスケジュールの関係から先着16組としていたが、当日はすぐに満席になり計42名が参加し、大盛況であった。

環境月間特別 エコ工作

紙をビーズに変身！
ブレスレットを作ろう

当センターは、あすたむらんど徳島にて、平成29年6月11日(日)に環境月間イベントを開催した。あすたむらんど徳島との協賛事業も恒例行事となり、今年で6回目を迎える。

若手職員で結成される『みずすまし隊』は環境月間ということで、広告やパンフレット、ラッピングシートを利用したエコで楽しい工作を企画した。

パンフレットなど廃棄されるものを、細長い二等辺三角形に切り出し、底辺から細いストローにくるくる巻き付け、ペーパービーズを作成。トップコートやニスを使ってつやを出す簡単な工作だが、もともと広告とは全く分からないビーズが完成する。

出来上がるまで、どんなビーズになるかイメージできないことや、同じものが出来ないところに魅力がある。

手作りビーズをつかって、今回はブレスレットを作成した。参加した子供たちや保護者は、手作りのオリジナル溢れるブレスレットをそのまま身につけていたが、とても広告とは思えない作品に仕上がっていた。

なかには、「家に帰ってから、おばあちゃんに作ってあげよう」などの声も多くあり、『エコ』を気張らずに生活に取り込んでもらえそうである。

今回の企画は人気も上々で、約160名の来場者があり、当センターのブースは途切れることなく、賑わいを見せていた。

これからも環境月間イベントの様に、環境保全等に主旨を置くイベントに積極的に参加し、ますます環境保全の環を広げてゆきたいものである。



水質計量便り

～最近気になる新素材～

新素材の実用化という話が発表されてから、気になっていたのが『セルロースナノファイバー』(CNF)と呼ばれるものです。

数年前はまだ、コスト面が問題視されていましたが、現在では1兆円市場に向けて急伸しているそうです。

では、『セルロースナノファイバー』とは何ぞや?という話です。

一言でいえば、植物の主成分であるセルロースを使った繊維状の素材ですね。主に、木材から得られる木材繊維(いわゆるパルプ)をナノオーダーまで微細化した世界最先端のバイオマス素材です。

材料学的な特性として、軽さは鋼鉄の5分の1なのに、強度は鋼鉄の5倍以上もあるそうです。だからと言って硬いわけでもなく、しなやかな物性を持っているとか。その他にも熱変形が少ない、表面積が大きい、透明度が高い、ガスバリア性が高いなど優れた特性を有しているようです。

さて、ここに来て実用化の期待が急速に高まっている理由が、CNFの複合素材を造る生産プロセスが大きく進歩し、製造コストが大幅に下がりつつあることです。これにより自動車分野での実用化が期待されています。

その他、量産に舵をきっているのが、各社製紙メーカーです。

例えば、王子ホールディングスによると、徳島の富岡工場がCNFを年間40t製造する方針を打ち出しています。

他にも、ゴムの強度向上や、従来ではできなかった滑らかな筆記を実現したボールペンの商品化、ヘッドホンの振動板への応用など、様々な分野で注目を浴びています。

植物由来のため、環境負荷が小さく、持続可能性が高い夢の新素材。これから私たちの身の回りで、どんどん広がってゆきそうですね。(*^。^*) by koizumi

事務局だより

法定検査のお知らせ

次の日程で法定検査を実施します。

○11条検査

日程：平成29年7月10日～平成29年8月10日

地区：徳島市・吉野川市・阿波市・石井町・美波町・牟岐町・海陽町・佐那河内村

○7条検査

日程：平成29年7月10日～平成29年8月10日

地区：徳島市・鳴門市・藍住町・北島町・松茂町・板野町・上板町・石井町・神山町・佐那河内村

○那賀町検査(らくらくあんしん協議会)

日程：平成29年7月10日～平成29年8月10日

地区：那賀町全域

○神山町検査(神山町きれいな水づくり協議会)

日程：平成29年7月10日～平成29年8月10日

地区：神山町全域

